

市長室から

お答えします

新しいごみの分別区分と 収集日について

Q 昨年10月1日からごみの分別区分と収集日が変わり、私の家庭でも気を付けています。しかし、食料品の多くに使用されているプラスチック製容器包装の収集が2週間に1度になり、とても不便に感じます。家での保管場所が必要になりますし、いくら洗っても長時間保管すると臭いが気になります。収集回数が減ることで、燃やせるごみの袋に入れて出す人が出てくるかもしれません。

プラスチック製容器包装の収集回数について検討してほしいです。

A 成田富里いずみ清掃工場の稼働に伴い、ごみの分別区分をこれまでの6種類から9種類にしました。同時に、収集日や分別方法なども変更となりました。

ビニールやプラスチックなどのごみは、プラマークの付いているもので汚れ・臭いが付着していないものを、プラスチック製容器包装の指定袋(白色)に入れて集積所に出してください。プラマークが付いていても汚れ・臭いの残っているものは、可燃ごみの指定袋(青色)に入れてください。このことにより、プラスチック製容器包装の排出量はこれまでよりも少なくなるものと予想されるため、2週間に1度の収集としています。

プラスチック製容器包装の指定袋(白色)に、プラマークの付いていないごみや汚れ・臭いの残っているごみが混入していると、リサイクルできません。限りある資源を有効に活用できるように、ごみの分別の徹底について、皆様のご理解とご協力をお願いします。

※くわしくはクリーン推進課(☎20-1530)へ。

消費生活相談

Q&A

LCCを賢く利用するには

Q 格安の航空料金で話題のLCC(格安航空会社)ですが、上手に利用するためのポイントを教えてください。

A LCCは、少ないスタッフで運営し、1つの飛行機をできるだけ多く飛ばす工夫をしています。また、重い手荷物の持ち込みや機内食、そのほか人手を介するサービスは個別に有料とし、座席スペースを狭くして、できるだけ多くの乗客を運ぶことで運賃を安くしています。しかし、安全性が従来の航空会社に劣ることはありませんので「安全は譲れないが、運賃が安ければサービスは我慢できる」と考える利用者に向いています。

上手に利用するためのポイントは次の通りですので、利用する状況などに合わせて賢く使いましょう。

必ずルールの確認をしましょう

LCC各社で運送約款やサービスマニュアルなどルールが異なります。特に、手数料・チェックインの締め切り時間・遅延や欠航時の対応方法などは、各社が独自に設定しています。予約する前にしっかり確認しましょう。

各航空会社の情報を収集しましょう

LCCは、変動運賃制をとっており、季節・時間帯・予約状況などによって運賃が変化します。それらの情報はインターネット上で公開されていますので、こまめに各社の情報を収集することで、チケットをより安い価格で手に入れることができます。しかし一度予約・購入すると、利用者の都合による変更や払い戻しができないことが多く、できたとしても割高な手数料を請求される場合がほとんどですので注意しましょう。

ほかの交通機関とも比較検討しましょう

所要時間・運賃・そのほかの条件を、従来の航空会社や鉄道・バスなどほかの交通機関と比較検討し、何を重視するかなど、目的によって移動手段を使い分けましょう。

※くわしくは消費生活センター(☎23-1161)へ。

